

## NTT DATA「次世代 IT 人材育成」ナレーション原稿

(NA1)

日本の人口は、2040 年にはピーク時の 20%まで減少。  
人手不足が深刻化していくと予想されています。

(NA2)

特に IT 人材は、2030 年に最大で 79 万人不足する、という調査結果もあり、若い世代を「IT 人材」として育成することが、社会全体で解決していかななくてはいけない大きな課題となっています。

(Interview1)

将来の IT 人材を育成するためにはどうしたらいいのか、  
この課題を解決するためには、子供たちに情報技術にもっと興味を持ってもらわなくては。そのように考えました。

(NA3)

そこで、NTT データでは、  
2020 年 6 月から国内グループ 13 社が連携し「NTT データアカデミア」という「次世代 IT 人材育成」を開始。約 1500 名の社員・協働者がプロボノとして取り組みを支えています。

(Interview2)

NTT データグループは人で成り立っている会社だと感じておりまして、次世代を担うお子様方に、ぜひまずは IT 業界に興味関心を持っていただきたい。  
やはりデータグループ一体となって、取り組んでいく必要があると思っております。

(NA4)

中学生向けに、情報技術の授業を提供する「SENSEI 世の中学」、女子中高生に向けたSTEMキャリア教育支援、中・高生全般に情報オリンピックへの協賛なども展開。

(Interview4)

実は身近な課題を IT が知らず知らずのうちに解決していたりとか、そういった気づきをいろんなタイミングで得ていただけるように小学生から高校生まで長いスパンで次世代 IT 教育の機会というのを届けています。

(NA5)

「SENSEI 世の中学」の教材作成には、技術革新統括本部の社員があたったほか、これまでに約 170 名の社員がプロボノとして授業をサポート。当社の強みである「テクノロジー」の知見を生かした、授業を行っています。

(Interview5)

自分達の学校に対する身近な不ですね。不便なところ課題を出してもらって、それをどうやって情報技術で解決できるかっていうのを考える過程で、こんなことが使えるんだなって気づいていただけるような場面にはすごく遭遇するので、そういった意味では手応えを感じています。

(Interview6)

すごい難しそうだなみたいな印象を強く持ってたんですけど、今回授業を聞いて私が思った以上に身の回りの情報技術が使われてて、それでも時代の流れがすごいなって感じました。

(Interview7)

今日データ情報技術というのを学べたことで、将来の進路選択に役立てられるのかなと思いました。

(Interview8)

今日の授業のおかげで、やっぱり技術で解決をしていこうという視点をいただいたことで、議論の幅もいつもよりも広がったという点が非常に良かったかなと思っています。企業の専門的な知識とか最先端の世の中の状況を、教師では伝えられないところを伝えていただくことで、やっぱり、子供たちの可能性とかが、かなり広がっていくところが最大の意義かなと思っています。

(Interview9)

まず知ってもらうこと、こういう技術があるんだよとか、あと会社がこういうことをやってるん

だよっていうのを知ってもらえる何かきっかけにひとつなってもらってことが全てに繋がってくるのかなと。

(Interview10)

こういった授業をいろんな地域でできると、地域格差みたいなのが埋まって行って非常に有意義かなと思いますし、我々社員も誇りに思うなというふうに感じました。

(NA6)

これまでに、NTT データアカデミアには、12000 名の子供たちが参加。「SENSEI よのなか学」の教材提供人数は、42000 人にもなっており、授業前後で生徒の情報技術に対する興味が約 30% 向上するなど、次世代 IT 人財育成に貢献しています。

さらに、インドにおけるロボット工学プログラムや、イタリアにおけるセキュリティ教育など、世界へとその活動を広げています。

(Interview11)

できればNTT データアカデミアという施策名称で、全世界で展開したいなというふうには考えております。

(Interview12)

我々IT 業界のリーディングカンパニーというふうに思っておりますので、そうした社会的な課題であったりとか、に対して、自分たちが社会貢献活動として取り組んでいかないといけないという使命感は非常に持っております。

(NA7)

「誰一人取り残さない」

サステナブルな社会の実現のために。。。

私たち NTT データは、テクノロジーで、次世代 IT 人財育成 に取り組み続けます。